

介護サービス事業の実態把握のためのワーキングチーム における論点整理を行うに当たってのポイント (第1回及び第2回ワーキングチームにおけるヒアリング結果を踏まえて)

各事業の共通したポイントについて

(1) 介護労働者の構成

→ 質が高く、かつ、効率的なサービス提供を可能とするために、正規職員・非正規職員といった雇用形態、職員の男女比や年齢構成のバランスをどうするかといったサービス提供体制の在り方について、各サービス毎にどのように考えるか。

(2) 業務量について

→ 書類作成といった介護サービス以外の事務負担等が増加しているとの指摘についてどう考えるか。

(3) 賃金水準について

→ 介護労働者の現在の賃金水準の決定に影響を与えている要因についてどう考えるか(どの程度介護報酬の水準や介護報酬以外の要因(介護サービス市場の動向、労働市場、規制等)に起因するのか)。

(4) キャリアアップについて

→ キャリアアップに結びつく基準や報酬上の評価の仕組みについてどう考えるか。特に小規模の事業所におけるキャリアアップの仕組みの構築の在り方についてどう考えるか。

(5) 労働環境について

- 感染症対策を含めた介護労働者の健康管理の実施の義務化等介護現場における労働環境の改善についてどう考えるか。
- 介護労働者の離職状況の事業所格差を分析とその分析による定着を図るための措置についてどう考えるか。
- 賃金に係る情報の開示の在り方についてどう考えるか。

各個別事業毎のポイントについて

<訪問介護事業について>

(1) 事業所の経営状況について

→ サテライトが実質へき地以外に認められていない現状をどう考えるか。

(2) サービス提供について

→ 生活援助の在り方や、いわゆる「混合介護」についてどう考えるか。

(3) 人員配置基準や介護報酬上の評価について

→ サービス提供責任者や管理者について、介護報酬上の評価の可否や配置基準についてどう考えるか。

<施設サービス事業について>

(1) 事業所の経営状況について

→ 施設入所者の重度化の進行に対して施設の人員配置をどう考えるか。

<その他>

(1) 地方公共団体による実地指導・監査

→ 各地方公共団体の実地指導・監査において異なる見解が示される現状や事業者の事務負担をかんがみ、実地指導・監査結果の統一性を図るための措置についてどう考えるか。

(2) 地方公共団体による制度運用の在り方

→ 事業者の事務負担をかんがみ、提出が求められる文書の様式が統一されていない等制度運用の在り方についてどう考えるか。